

CASBEE京都-新築(2011年版)
京都会館

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年)
■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率 ●自然 A(全国版準用)								
2 方位別開口 ●自然 B(推奨内容)								
3 昼光利用設備 ●自然 B(推奨内容)								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア ●自然 B(推奨内容)								
2 昼光制御 ●自然 B(推奨内容)								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量 ●自然 A(全国版準用)								
2 自然換気性能 ●自然 A(全国版準用)								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画 ●大切 D(独自基準)								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観 ●とも C(独自加点)								
2 リフレッシュスペース ●とも D(独自基準)								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数 ●大切 A(全国版準用)								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

2.4 信頼性				地震時等の対策	4.0	0.19			
1	空調・換気設備			井水・中水の利用	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				4.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法			耐震クラスAの機器・配管指示方法を採用	4.0	0.20			
5	通信・情報設備			災害時に備えた通信手段等	5.0	0.20			
3 対応性・更新性					2.8	0.29			2.8
3.1 空間のゆとり					3.0	0.31			
1	階高のゆとり								
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	1.00			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31			
3.3 設備の更新性					2.6	0.38			
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		2.0	0.17			
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		2.0	0.17			
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22			
6	バックアップスペース				3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30			4.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)	緑地の確保、自生種への配慮	4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	風致地区条例に適合	5.0	0.40			5.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.5	0.30			4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)	屋外スペースの地域提供	5.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)	緑地の整備、排熱への配慮	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-			4.2
LR1 エネルギー					-	0.40			4.5
1 建物の熱負荷抑制				熱負荷の抑制	4.4	0.30			4.4
2 自然エネルギー利用					4.0	0.20			4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		●自然	A(全国版準用)	採光利用、通風利用	4.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用		●自然	A(全国版準用)	太陽光利用、太陽熱利用	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化					5.0	0.30			5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				ERR=37.6%	5.0				
集合住宅の評価					4.0				
4 効率的運用					4.5	0.20			4.5
4.1 モニタリング				消費エネルギーの把握	4.0	0.50			
4.2 運用管理体制				年間エネルギー目標値の計画	5.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル					-	0.30			4.4
1 水資源保護					3.8	0.15			3.8
1.1 節水				節水コマ、省水型機器の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.6	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		●自然	A(全国版準用)	雨水利用システムの導入	4.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減					4.8	0.63			4.8
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	プレストレストコンクリートの採用など	4.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				既存建築躯体の再利用	5.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	電炉製鉄筋の採用	5.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	再生の骨材、木質系セメント板の採用	5.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)	躯体と仕上げ材を分別可能など	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68			
1 消火剤					-	-			
2 発泡剤(断熱材等)				ODP=0の冷媒の採用	5.0	0.50			
3 冷媒					3.0	0.50			
LR3 敷地外環境					-	0.30			3.5
1 地球温暖化への配慮					4.2	0.33			4.2
2 地域環境への配慮					3.2	0.33			3.2
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					4.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減				指導以上の雨水排水処理対策の実施	4.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25			
3 交通負荷抑制				公共交通利用促進計画の実施	4.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制				分別回収等の実施	5.0	0.25			
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1 騒音					3.0	1.00			
2 振動					-	-			
3 悪臭					-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40			
1 風害の抑制					3.0	0.70			
2 砂塵の抑制									
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					4.4	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				外に漏れる光、広告物照明などの光害対策の実	5.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30			

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる